

## 屋上菜園での農的体験価値

都会に住む人々は、屋上菜園の農作業による経験を通してリアルに自然の大地の感覚を取り戻す機会を持つことができる。

大都会はビルが林立し人口も集中しているため、人々は都市特有のストレスの多い生活を余儀なくされている。しかし野菜栽培をすることでほんの少しでも生活に潤いがもたらされ、農作業を通して多様な分野で活躍する人達との新しい人間関係ができ、そこから都市型コミュニティ、正確には一定の目的を持ったアソシエーションが生まれていくことが期待される。市民だからこそできる農作業の楽しみ方である。農の付加価値を体験する場である。

市民農業は子供から高齢者まで、そして健常者から心

身に障害を持った人達まで参加できるユニバーサル性を持っている。また職種を問わない。例えばアーティストも関わることができる。多様性(ダイバーシティ)も実現可能だ。

農的価値感とは農作業を実際に行うことで初めて得られる経験である。四季の変化を感じる感覚をもとに生命力(身体感覚)を回復できる。循環的な有機栽培を通して、生物多様性を実感し受け入れることができる。それは大切な自然との共生感覚の回復を実現することにつながっていく。

代表理事 阿部 義通

## 3月の活動報告

### ◇北千住ルミネ 屋上菜園のメンテナンス実施◇

4月からの一般開放に間に合うように、屋上菜園施設の木枠のメンテナンスを行いました。メンテナンスのポイントは3つあります。1つ目は菜園区画の嵩上げです。従来木枠の高さ10cmの4区画に8~9cmの土を入れていましたが、木枠の高さを20cmにして、土が厚さ15cm程度入るようにしました。収穫を安定させ、収穫量を上げるのが目的です。2つ目はブドウの区画の木枠の高さを40cmとし、土の量を増やします。また50房のブドウを採りたいものです。3つ目は木製丸形プランターを4つ設置します。主にスーパーフードのエゴマ、モリンガを栽培するためです。木製プランターであれば移動もできます。



メンテナンス後全景

### ◇三井住友海上火災保険 野菜栽培2年目に入る◇

4月から運営方式が変わります。1年目は毎週土曜日の午後2時~4時で栽培相談を行ってきましたが、4月からはそれが午前10時~12時となりました。理由は野菜の手入れのためには、例えば野菜の収穫、水やり、人工授粉などは午前中の作業がベターだからです。またこれから徐々に温度が上がっていきますので、身体への負担も考慮しました。2年目は作業内容も有機栽培についての知識もステップアップできるよう、利用者の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

今年は病気を抑え、また味を良くするために竹炭と竹堆肥を使うことにしています。竹炭は千葉県NPOから、竹堆肥は島根県の研究会から調達します。竹を使うことによって里山の自然が守られることが私たちのもう一つの願いです。



昨年夏の野菜残滓が堆肥になりました

## 3月の活動報告つづき

### ◆ エゴマ部会 ◆ ◆ エゴマ料理・健康教室(第1回)開催準備 ◆

今回のエゴマ料理・健康教室(第1回)の東京での開催はトントン拍子に実現しました。2月23日に島根県川本町で竹下さんにお会いし、夕食をご一緒した際、竹下さんの奥さんが「早い時期に東京でエゴマ料理教室を開きたい」と言われました。なるべく早く実現したいと思いながら帰京した直後、すぐに東京の島根館で島根県の物産のPRのため竹下さんご夫妻が4月1日の上京するとの連絡が柴原さんから入りました。そこで打ち合わせた結果、急でしたが、4月1日(土)の午後



エゴマ料理・健康教室の会場  
オーガニックカフェ TIMI

3時~5時の予定でエゴマ料理・健康教室を開催する運びとなりました。会場はオーガニックカフェ「TIMI」の大貴オーナーの好意ですぐに決まりました。そして定員は会場のスペースの関係で16名としました。第1回目のエゴマ料理・健康教室に川本町の有機エゴマ栽培(竹下さん、柴原さん等)を支えて下さる多くの方が集ってくださることを願いつつ、エゴマ部会として準備を進めました。

## グリーンエッセイ

### 屋上菜園カフェに向けて進行中①

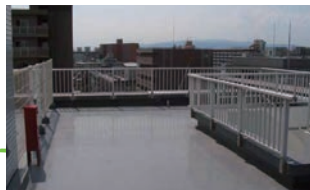
平塚 美恵子

もともとフィットネスをするために人工芝を敷き、簡単なフィットネス道具を設置していた屋上でしたが、時間の経過とともに人工芝はボロボロになるし、そのころは屋上でフィットネスをするような人はほとんどいないというような状態でした。時々おじさんがゴルフの素振りをするくらいで、ビルを設計したデザイナーが考えていた構想は悲しいけれどほとんど無駄だったかもしれないという残念な気持ちでございました。

そのような時期に屋上菜園と出会いました。まずは深さわずか10センチ程の箱状の小さな畑で春菊とほうれん草の栽培にチャレンジしました。初めて口にしたら春菊はあまりにも甘くて、濃くて・・・それまでは春菊を生で食べることはありませんでした。「採れたての野菜はこんなに美味しい!」と感動しました。野菜を育て、そしてそれを食する楽しみは、今までの人生の中ではありえない事でした。

屋上で野菜栽培をすることになったきっかけは株ミヨシフロンティアの阿部さんとの出会いでした。阿部さんが私達素人を本当に熱心に指導して下さいました。小さかった畑を大きくして、春にイチゴ、秋にサツマイモの収穫をした時のことは大変楽しい思い出です。大きなサツマイモがベッドで横になっているようにゴロゴロ、ゴロゴロ。屋上での初芽ほりは楽しくて歓声が上がればなしでした。(次回に続く)

ビル屋上の写真(2008年8月撮影)



## JVEC 関連ニュース

### ■3月の理事会報告・臨時社員集会について打ち合わせ

昨年11月の社員総会で決まった年度方針を具体化するために、今年から1月26日、3月23日と理事会を定期的に開催していきます。3月の理事会では、4月13日(木)に開催を予定している臨時社員集会のための打ち合わせ、当面の活動についての意思決定、そして情報共有を致しました。JVECにとって2年目はステップアップのために大切な年になります。一つ一つの活動を深め、充実させていくことが大切です。そして一步一步です。

### ■HP開設準備状況・開設は4月下旬

JVECの情報発信能力を高めるためにHP開設への準備作業を進めています。サイトマップの基本的枠組みは出来上がりつつあります。当初は4月1日の開設を目指していましたが、最新の動きも踏まえてサイトマップを見直したこともあり、開設は4月下旬となる予定です。

### ■品川区第四野小学校ガーデンマスターの皆さんとの意見交換会(3月4日)

小学校の屋上菜園でボランティアをしている方々とランチミーティング形式でざくばらんに今の屋上菜園の現状や問題点、今後の方向性などを話し合いました。

屋上菜園を継続していくポイントは「楽しみながらやること」と、これからも子どもを交えて会員や保護者、先生など学校ぐるみで楽しく集い作業できるような工夫などを話し合いました。

## 4月の予定

### □臨時社員集会の開催

臨時社員集会を4月13日(木)午後5時30分~7時の予定で、ハゴロモビル5階の会議室で開催します。議題は以下です。

- (1) 上半期活動報告、決算報告
- (2) 下半期活動方針・計画

また臨時社員集会では今後のJVECのために自由討論の機会も設ける予定です。

### □神田ハゴロモビル 屋上菜園ガーデン整備

ハゴロモビルの屋上菜園ガーデンの整備作業を進めます。日照条件と使い勝手を考慮してレイアウトを作り上げていきます。

また屋上で栽培するエゴマなどを地元の飲食店で使ってもらうことも検討中。レイアウトが決まり次第、施工作業に入ります。